

令和5年度 第1回小矢部市総合教育会議 議事録要旨

1 日時

令和5年6月9日（金）午前10時から午前10時35分まで

2 場所

小矢部市役所 特別会議室（2階）

3 出席者

桜井市長、栢元教育長、石野教育長職務代理者、塚崎教育委員、前田教育委員、笹島教育委員

4 出席職員

橋本総務部長、野澤教育委員会事務局長、瀧田教育総務課長、高田文化スポーツ課長、橋本こども家庭課長、明石総務課長、太田総務課課長補佐、荒谷総務課主事

5 傍聴人

なし

6 議題

令和5年度小矢部市教育委員会重点施策について

7 会議の概要

(1) 市長あいさつ

皆様おはようございます。

本日、令和5年度第1回小矢部市総合教育会議を招集いたしましたところ、委員の皆様には、ご多用の中をご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

さて、長引いておりましたコロナ禍もようやく出口がみえてきたようでございます。

文部科学省では、5類感染症への移行を踏まえまして、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を改定したところでございます。

そのような中、本市小中学校においても、新型コロナウイルス感染症対策の見直しを行ってございまして、今後、児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

本日の会議につきましては、「令和5年度小矢部市教育委員会重点施策」について、ご報告をさせていただきますけれども、何卒皆様方には、活発なご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます、冒頭のごあいさつ

に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

- (2) 令和5年度小矢部市教育委員会重点施策について
教育委員会から「令和5年度小矢部市教育委員会重点施策について」説明（教育委員会事務局長）

【委員の主な意見】

教育委員：今年、蟹谷小学校と蟹谷中学校の運動会を見て、1学年1クラスずつとなっていた。生徒が充実した教育を受けられるよう小中学校の再編を進めていただきたい。

事務局長：令和5年度末に出てくる人口推計を見極めつつ、教育委員の皆様のご意見も踏まえながら検討してまいりたい。

教育委員：不登校児が増加傾向である。教育支援センターと教育センターの設置位置だけではなく、支援内容も検討が必要である。社会的自立をどのように行っていくのか、保護者の相談体制も含めて検討してほしい。

事務局長：保護者の不安を取り除けるよう支援内容の充実に努めてまいりたい。

教育委員：教員の入れ替わりが激しく、若手も多くなっている。その中で、デジタル教科書の実証事業への取組や具体的な支援を学ぶ研修の充実における一人ひとりの教員の育成や、また、この位置づけにおいて、予算面や人材面で学校側が動きやすいようお願いしたい。

事務局長：授業の合間ということもあり、研修機会が限られることもあるが、教育センターや学校側と相談しながら先生方のスキルアップに努めてまいりたい。

教育委員：ここ最近、食費が非常に上がっている。限られた予算の中での給食の提供となるが、値上げすればよいという問題ではないが、できるだけ保護者の負担を増やさずに、おいしいものを提供できるよう内容の充実も必要である。委員が食べる機会も必要ではないかと思う。

事務局長：給食費の値上げについては、今年度は増額分を助成することにしてはいる。また、県市長会で給食費の無償化を強く要望されることを聞いている。本市においても、国や県に対して重点要望を行い保護者の負担が増えないよう努めてまいりたい。また、委員の皆様にご給食を食す機会を設けることも検討してまいりたい。

総務部長：令和4年12月小矢部市議会において、ふるさと教育の中で、加賀藩藩政期の歴史について小矢部市の成り立ちが反映されていないとの意見があった。このことについて情報共有するとともに、令和6年度の教育委員会重点施策への位置付けと令和5年度からのふるさと教育の推進をお願いしたい。

事務局長：令和6年度の教育委員会重点施策への位置付けと、資料が
整えば令和5年度からのふるさと教育の推進を検討してま
いりたい。

- (3) その他について
質疑・意見なし
- (4) 議事以外のその他について
質疑・意見なし